

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

## ②施設・事業所情報

名称：石上保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：齋藤 留奈	定員（利用人数）：60名（利用者：64名）	
所在地：神奈川県藤沢市鵠沼石上3-1-8		
TEL：0466-54-3311		
ホームページ：http://www.ans.co.jp/u/fujisawa/ishigami.htm		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2010年（平成22年）4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 県央福祉会		
職員数	常勤職員：12名	非常勤職員：9名
専門職員	（専門職の名称）	名
	保育士：13名	栄養士：1名
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	保育室6部屋	エアートランポリン、屋上、ウォールクライミングなど

## ③理念・基本方針

## 法人の理念

「ソーシャルインクルージョン（共生社会）を目指します。」

「ニーズに応えるべく先駆的で開拓的な事業を展開します。」

## 法人の使命

「誰もが一人の人間として尊重され、ともに支え合い暮らしていく。たとえば、小さな子どもたちがすすすすく育つように、人それぞれのライフステージを支援する、それが県央福祉会の使命です。」

## 基本理念

～tomoni生きる～

すべての保育を必要とする子どもの環境整備に努めます。子どもの発達や成長に沿った保育や支援を行ないます。時代の変化にともなうニーズに即した保育と子育て支援をプロデュースします。

## 保育方針

- （1）人とかがわり人を大切にする心をつくります。
- （2）自然とかがわり自然を大切にする心をつくります。
- （3）食育を重視し、安心して安全な食事を興味を持って食べられるようにします。
- （4）遊びを通して元気な体を作ります。
- （5）保護者との連携を強めて、それぞれの子ども達の成長を支えます。

- (6) 地域との連携を強めて、地域と一緒に子ども達の成長を支えます。  
 (7) 障がい児保育にも積極的に取り組みます。

④施設・事業所の特徴的な取組

独創的な取り組み

- ・定員60名の小規模保育園のメリットをいかして、全職員で園児一人ひとりの育ちを温かく細やかに支えています。
- ・運動、音楽、絵画など様々な体験を取り入れ、物事への興味、関心から生まれる幼児期に望ましい資質や能力を育てていきます。
- ・幼児組は異年齢が一緒に過ごす中で、互いに刺激を受け合いながら、憧れや思いやりなど豊かな心を育てていきます。
- ・法人内の認知症型グループホームとの交流を行い、お年寄りをいたわる気持ちを育てていきます。
- ・エアートランポリンやウォールクライミングなど様々な運動遊具を使い、園内でも体を使った活動を行なっています。
- ・保育所保育指針の改定に伴い、児童票の変更を行い、視覚的に見やすい児童票の作成に取り組み、園児の発達を支えます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成31年3月30日（契約日）～ 令和1年1月6日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2014年度）

## ⑥総評

### ◇特に評価の高い点

#### 1) 子どもたちの発達状況が見える化で質の向上を図っています

前園長が独自に開発した児童票を使って、子ども一人一人の発達の「見える化」を行っています。職員が子どもの発達状況を項目単位で毎月確認し、食事、運動、言葉、友達との関わりなどの発達状況が見える化して、得意、不得意の項目が分かりやすくなっています。

また、職員は、クラス単位で見て、クラスの中での相対的な発達状況の差異が分かり、週案、月案での取り組み方、取り組む内容が適切か、見直すべき項目は何かははっきりし、職員自身の保育の質向上に役立っています。

#### 2) 屋内運動遊具を充実させて、楽しめる工夫をしています

園には園庭がありませんが、気候に左右されない屋内運動遊具が充実しています。1階ホールの壁面にクライミングホールドを設置して、子どもたちがウォールクライミングを楽しんでいます。

ホールでは、大きな凹型のエアートランポリンの中で子どもたちが職員と一緒に、飛び跳ねたりして楽しんでいます。技巧台、跳び箱もあり、子どもの成長に合わせて屋内で十分身体を動かして楽しめる工夫をしています。

#### 3) 地域交流を積極的に行っています

全体的な計画に、地域交流・地域貢献を掲げ、地域との交流を積極的に行っています。近隣の親子向けに地域開放日を開催し、夕涼み会へ招待して交流しています。幼児クラスは、町内会の敬老会や節分に職員と一緒に参加しています。

5歳児は、地域の社会福祉協議会主催の芋ほりに、近隣のグループホームの人達と一緒に参加したり、地域住民と一緒に公園で樹名板の取り付けも行っています。4、5歳児は、設置法人が運営するグループホームを訪問し、手あそびや歌遊びで交流しています。

### ◇改善を求められる点

#### 1) 中長期計画の策定

設置法人としての中・長期計画は、策定されていますが、保育園としての中・長期計画はありません。現在、法人内の全保育園で、来年度からの中・長期計画の策定を計画しています。

次年度からは、中・長期計画をもとにした単年度の事業計画作成を期待します。

#### 2) 相談室の防音対策

相談室が確保され人目を気にせず相談が出来るよう、独立した環境を設けています。

相談室は天井まで仕切りが無いため、相談室の音が漏れてしまう可能性があります。声漏れがしない工夫とともに、保護者の送迎時の動線の検討も期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

法人第一号の石上保育園が開園して10年を迎えました。職員皆で力を合わせ、一步一步ですがよりよい保育園作りに努めてきましたが、この10年間に保育園は6園にまで増え、職員の入替わりも増えてきました。

そこで、今回、第三者評価を受審するにあたって職員の話し合いを重ねてきましたが、とても有意義なものになりました。全職員が園や法人の決まり事の再確認したり、保護者の皆様のアンケートも参考にさせていただきながら、今ある様々な仕組みの確認や見直しをしたり、また保育について様々な検討をしました。その中で、職員たちから、「まだまだ十分でない」「工夫次第でもっとよくなる」といった言葉があがりました。

これを機に、これからも、よりよい保育、よりよい保育園に向けて、取り組んでいきたいと思います。今回の第三者評価受審にあたり、保護者の皆様にはご協力いただきまして有難うございました。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり